



2022年

おすすめの本 高学年

過去3年間の出版物を中心に
市立須坂図書館職員が選びました。



ほん
本をよむのは だれのため？ おかあさんのためじゃない。
がっこうのせんせいのためでもない。たくさんたべて、せが
のびるように、たくさんよんで、^{おお}ころを大きくするため。
ぼくのため。わたしのため。

しかくいまち

戸森しるこ/作 吉田尚令/絵 理論社



しかくいまちに流れついた男の子は、「しかくいひ
と」に助けられます。ぜんぜんちがうふたりがいつしよ
に過ごした、ずっとおぼえていたい時間。やがて、別
れがおとずれ、おとなになった男の子は……。

913ト

すぎかとしょかん



よあけ

あべ弘士/作 偕成社

木の葉が赤や黄にそまるころ、たき火をかこみ、じいさんから森の動物の話聞く。満天の星の下でねむり、目をさますと……大自然のなかでむかえる夜明けを、ドラマチックにえがいた美しい絵本。

Eアへ



アレにもコレにも！モノのなまえ事典

杉村喜光/文 大崎メグミ/絵 ポプラ社

金魚すくいであつかうアレ、とこやさんの前でグルグルまわっているアレ、パンのふくろをとじるアレ……アレにもコレにも名前があります。知っているようで知らないモノの名前が大集合！

031 入



ネコをひろったリーナとひろわなかったわたし

ときありえ/著 講談社

里菜子は小学6年生。好きなピアノをつづけるために音楽学校を受験するか迷っている。ある日、ピアノ教室の近くでリーナという女の子に出会う。リーナは、里菜子がひろわなかった黒いすてネコを飼っていた。

913ト



スティーブン・ホーキング

ブラックホールの謎に挑んだ科学者の物語

クラル、ブルワー/文 クリコフ/絵 さくまゆみこ/訳 化学同人

「車いすの物理学者」として有名なホーキング博士は、科学に革命をもたらすいっぽう、難病 ALS とたたかうすがたで、多くのひとを勇気づけました。

科学のえほん E クリ



いろんなところに いろんな むし

テッケントラップ/絵 マリー/文 いたうむしひこ/訳 講談社

むしってどんないきもの？ どこにすんでいるの？
むしってこんなにきれいだったの！ 美しい版画の
むしたちと、くわしい解説が、まるで物語のような、
家族で楽しめる科学絵本。

科学のえほん E テツ



美術ってなあに？

“なぜ？”から広がるアートの世界

ホッジ/著 小林美幸/訳 河出書房新社

「どうしてはだかのなの？」「美術館ではしずかにしてなきゃいけないの？」美術の「なぜ？」を集めた
楽しい入門書。オールカラーの図版とわかりやすい
文章で、あらゆる世代におすすめ。

700 ホ

きょうは おかねがないひ

ミルナー/作 こでらあつこ/訳 合同出版

ママは、わたしたちにひつようなものを買うために、いっしょうけんめいおしごとしてる。でも、きょうは——。貧しくても明日への夢と希望をもって生きる親子。社会問題を知るための入門絵本。

Eミル



こんなおおきなかず、みたことある？

フィッシュマン/作 グリーンバーグ/絵 竹内薫/訳 偕成社

この世界は大きくて巨大で信じられない数であふれている。宇宙にある巨大な数の星から、たったひとりのたいせつなきみまで、いろいろな数をさがしにいこう。億、兆、京、垓……はじめての「大きな数の絵本」。

Eグリ



エイドリアンはぜったいウソをついている

キャンベル/文 ルーケン/絵 服部雄一郎/訳 岩波書店

「うちには馬がいるんだよ」って、いいふらすエイドリアン。わたしは、そんなの信じない。町に馬がいるわけない。でも……。自分とは「ちがう」ことも受け入れていく、子どもの心の成長をえがく絵本。

Eルウ

